

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042-754-3604
担当部課名	生涯学習部	図書館	奉仕	係
事務事業名	複写サービス経費		事業コード	15110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	~63
施策名	第1施策	生涯学習機会の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

図書館法, 著作権法

3 事業概要

(1) 事業の目的 著作権法に基づき, 図書館内の図書資料のコピーを行い, 利用者へのサービスの充実を図る.		(2) 対象(誰、何) 市民	
		対象数	約62万人
(3) 平成13年度事業の内容 複写サービス経費 消耗品費 610千円 複写料金 260千円 (@3.57×*72668枚) 再生紙 350千円 (A3, 1000枚入り)		(4) 総合計画・実施計画における概要 なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~年度
		なし	

4 評価指標

指標名	複写1枚あたり費用	複写収入に対する複写サービスの経費の比率	貸出し利用者に対するコピー利用者の割合
指標式	複写サービスの全費用 / 複写枚数	複写サービス収入 / 複写サービスの全経費	コピー枚数 / 貸出し利用者数
指標設定の意図	複写1枚あたりの費用を算出する。	複写サービス事業の経済効果を把握する。	コピー利用者の需要を把握する。

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	5.3	8.3	a 8.4	b 5.2	5.2
指標	186.9	141.5	c 119.7	d 190.6	190.6
指標	2.9	3.8	e 3.6	f 2.3	2.3
事業費	決算(予算)額	526	580	610	630
	人員・時間数	0.2	0.2	0.2	0.2
	人件費	2,325	2,341	2,425	2,425
	その他経費				
	合計	2,851	2,921	3,035	3,055
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか											
評価 B ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 127.0%									
	B:一部達成していない(100%> 80%)										
	C:達成していない (80%>)										
a	8.4	b	5.2	c	119.7	d	190.6	e	3.6	f	2.3
$\frac{a}{b} \times 100 = 161.5\%$		$\frac{c}{d} \times 100 = 62.8\%$		$\frac{e}{f} \times 100 = 156.5\%$							
理由:	コピー収入により、コピー経費は十二分に賄えており、一般財源に充当しているほどである。										

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A:適応している	理由:	市民の様々な学習要求に答えていくためには、図書資料のコピーの活用は大切で、目まぐるしく変わる現代社会においては必要であり、時代に即応したものである。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A:妥当である	理由:	コピー収入によりコピー経費は、十二分に賄われているが、コピー用紙の材質、枚数など改善の余地はある。
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A:代替の可能性ない	理由:	市民に即その場で情報を提供するため、代替の可能性はない。
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A:満足できる	理由:	コピーサービスについて、特に市民から特別に不満の声は聞かれない。ほぼ、満足されていると考えられる。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A:有効である	理由:	生涯学習の機会を充実させるためには、コピーサービスは、必要不可欠のものである。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> 市民へのPRを図り、利用者の増加を図っていく。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> コピー用紙の数量、材質により複写費用の増減は可能である。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	特記事項なし
今後の進め方		説明	図書館は、市民の様々な学習要求等に答えるべく図書資料のコピーサービスを行い利用者へのサービスを図っている。市民サービスの提供については、満足できるが、コピーの経費については改善する余地もあるので、貸し出し利用者を増やすなどして、費用効果を高め、事業を継続していく事が大切である。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--